令和８年度

# 天保山中学校の教育　全体構想図

○　生徒・家庭・地域の実態
○　生徒・保護者・地域住民の願い

【教育目標】
心身ともに健康で豊かな感性と知性を身に付け、２１世紀をたくましく生きる生徒を育成する。

【教育関係法規・方針等】
○　日本国憲法
○　教育基本法
○　学校教育法、学校教育施行規則
○　学習指導要領
○　鹿児島市教育振興基本計画
○　子どもの権利条約　　など

**【生徒像】　気付き実践できる生徒（整った身なり・気持ちのこもったあいさつ）**

| 自　主 | 好　学 | 友　愛 | 健　康 |
|---|---|---|---|
| 向上心をもち<br>主体的に行動する | 課題を明確に<br>粘り強く実践する | 誠実に行動する<br>自他を思いやる | 心身の健康<br>たくましい心と体 |

学校運営協議会

【教育課題】
○　節度があり意欲に満ちた集団生活
○　集団生活への不適応改善
○　目標実現を支える学力向上
○　ＩＣＴ機器の活用促進
○　人権意識の高揚
○　メディアリテラシーの育成
○　様々な困難に耐える体力・気力
○　社会の一員としての地域貢献

**【学校像】　「師弟同行」「協働連帯」で地域・家庭に信頼され開かれた学校**
「チーム天保山」で潤いと活気に満ちた学校」

| 礼を正し | 場を清め | 時を守る |
|---|---|---|
| 心のこもったあいさつ・会釈<br>時と場に応じた言葉遣い、マナー<br>場に応じた服装と着こなし | 教室内外の整理整頓<br>更衣をして時間いっぱい清掃<br>あるべきものがあるべき姿で | 登校・下校時刻を守る<br>ノーチャイムによる自主的な活動<br>始業３分前行動開始 |

【経営課題】
○　教育目標達成の具体策とその共有
○　校務分掌組織の機能強化
○　業務改善の確実な推進
（１アクション１トライの徹底）
○　不祥事根絶のための取組
○　研修の内容や方法の充実
○　地域や関係機関との積極的連携
（学校運営協議会の組織の充実）

ＰＴＡ活動、家庭教育学級、おやじの会
小中連携研修会

**【教師像】　授業で勝負する教師（整った環境・ねらいの明確な分かる授業）**

| 率先垂範 | 師弟同行 | 授業力 | 自己研鑽 | 信　頼 |
|---|---|---|---|---|
| 使命感に燃え、新たな取組に挑戦する。<br>職 責 感 | 厳しさと思いやりを備え、生徒と共に高め合う。<br>教 育 愛 | 分かる授業、個性や能力に応じた指導を徹底する。<br>指 導 力 | 周囲に気を配り、感謝の気持ちをもつ。<br>人 間 性 | 誠実な実践と奉仕の精神、不祥事根絶に努める。<br>信　念 |

八幡校区コミュニティ協議会
城南校区まちづくり協議会

**教 師 五 訓**

1　夢のある教育は、潤いがある。
2　計画性に根ざした教育は、力がある。
3　記録の積み上げのある教育は、光がある。
4　反省のある教育は、深みがある。
5　哲学のある教育は、方向性がある。

**「気付き 考え 実行する」生徒を育てる天保山中学校**
できる　やれる　かなえる　～天中一心～

あいさつの行き交う天保山中学校区
ニコニコあいさつ運動の推進

【めざす姿】【方策】【指標】

| 「主体的な行動力」をかなえる | 「志を実現できる学力」をかなえる | 「互いに支え合う人間関係」をかなえる | 「明るくたくましい心と体」をかなえる |
|---|---|---|---|
| △　自ら課題を見付け、多角的な視点で解決策を考え、最後まで粘り強く実行することができる。<br>△　自分の考えをもち、周囲と協働しながら、失敗を恐れずに新しいことへ挑戦することができる。<br>△　目指す生き方を実現するための目標を設定し、それに向かって計画的に行動することができる。 | △　自らの夢や目標を明確にもち、その実現に向けて主体的に学び続けることができる。<br>△　自ら考え・判断し、学ぶことに対する意欲や目的意識をもち、粘り強く取り組むことができる。<br>△　学習の進捗状況を把握し、見通しをもって計画的に学習を進めることができる。 | △　約束やきまりを誠実に守り、自分の言動や行動に、責任をもつことができる。<br>△　互いのよさや努力を認め合い、他者の意見や考えを尊重するとともに、柔軟に対応できる。<br>△　学級活動や生徒会活動、ボランティア活動、部活動などの集団活動に積極的に参加する。 | △　明るい表情であいさつすることができ、意欲をもって、元気に笑顔で登校する。<br>△　自らの健康と体力の向上に主体的に取り組み、体調管理を意識しながら、規則正しい生活を送る。<br>△　健康を維持するための自己管理能力やストレス対処能力を高める。 |
| □　生徒の意見を尊重し、積極的に聞くことで、生徒が自分の考えを表現しやすい環境をつくる。<br>□　自己評価と他者評価の機会を設定し、自分の行動を振り返り、改善点を見付ける力を養う。<br>□　目標設定の支援を行い、生徒が具体的で達成可能な目標を設定できるように促し、支援する。<br>□　成功体験を積ませることで、自己効力感を高め、次の挑戦に向かう意欲を引き出す。<br>□　家庭や地域における生徒の生活の状況を把握するとともに、家庭と協力した取組を実践する。<br>□　定期的（学期ごと等）に目標設定を行い、振り返り、修正・改善をさせる。 | □　「分かった。できた。」を実感できる授業を展開し、「振り返り」を大切にしながら、教科における学ぶ楽しさ、必要性等を理解させる。<br>□　問題解決型の学習を取り入れ、生徒が自分で考え、協働し、解決策を見出す力を育てる。<br>□　毎時間の終末、単元(題材)の節目等で振り返る場面を設定し、定着の見届け、補充を確実に行う。<br>□　言語能力や情報活用能力などの向上を図る。<br>□　タブレット端末等を活用し、基礎的・発展的な学習が、個別に行えるようにする。<br>□　授業及び家庭学習等における、基礎学力や学習内容の定着を図る具体的な取組を実践する。 | □　学校生活・集団生活の約束やきまりについて、自ら考えさせ、セルフジャッジできるようにする。<br>□　生徒同士のトラブルや誤解に対して迅速に対応し、円滑な人間関係の構築を支援する。<br>□　問題行動の指導では、事実に基づいて確認しながら、一人一人の特性に応じて考えさせる。<br>□　トラブルの解決に当たっては、事実確認や関係生徒、保護者への説明を、丁寧に確実に行う。<br>□　道徳の授業を計画的に実施し、生徒の道徳的価値の自覚を深め、豊かな人間性の育成に努める。<br>□　教育環境を良好な状態に保つために、整然とした教室設営や学校環境の整備に努める。 | □　自分を大切にするとともに、互いの人権を尊重する意識や態度を身に付けさせる。<br>□　毎朝の健康観察、表情に応じた言葉掛け、気になる生徒の家庭への連絡を確実に行う。<br>□　睡眠や食事など基本的生活習慣について、生徒への指導と保護者への啓発を定期的に行う。<br>□　むし歯等の治療状況の見届けと指導を行う。<br>□　自己の体力の状況を把握し、毎日の運動や体力づくりに取り組ませる。<br>□　ストレスマネジメント教育を推進し、心身のバランスを大切にするとともに、ストレスを上手に管理する方法やその対処の仕方を習得させる。 |
| ◎　キャリアパスポートを活用した取組を行う。<br>◎　各家庭において、保護者と共に各自の目標が設定され、共有されている。<br>○　年間読書冊数５０冊以上 | ◎　学力調査通過率　全教科県平均以上<br>○　テスト結果分析等を基に、学習の定着状況の把握と個別指導の場が設定されている。<br>○　タブレット端末を日常的・効果的に活用する。 | ◎　不登校・傾向生徒欠席日数前年比２／３未満<br>◎　いじめ解消率１００％<br>○　朝のボランティア活動等への参加者の増加<br>○　ＳＮＳ等のトラブルの未然防止 | ◎　むし歯治療率８０％以上<br>◎　毎日朝食をとって登校する生徒９５％以上<br>◎　６０分以上の運動時間の確保<br>○　スマホ、ゲーム機の使用制限（良質な睡眠確保） |